

適正な募集態勢に移行

委託募集人雇用について

2014年5月に保険業法の一部改正法案が可決したことで、業界ではさまざまな事業者が対応を模索している。特に代理店では、今後の方針や具体的な方向性がまだ定まっていない会社もあると思われる。そうした中、広域保険代理店として全国に拠点を展開し、生・損保合計約30社の商品を取り扱う㈱A.I.Pの松本一成社長は、自社の体勢整備と今後の代理店の仕組みづくりを進める。適正な募集態勢への移行や、それに伴う雇用問題などの取り組みについて聞いた。



松本社長

A.I.P 保険業法改正への対応

今回の法改正について松本社長は、「代理店の社会的責任が大きくなってきたことを意味している。代理店は社会的な存在意義を高めるチャンスとして捉え、お客さまサービスの品質向上につながる前向きな取り組みと認識すべきだ」と語る。代理店としての在るべき

姿を再確認し、自社のルールを見つめ直して、企業価値向上の機会として対応するべきだというのだ。これらを実行した背景については、「組織としての軸がしっかりしていなければ、いくら体勢整備のルールや基準を作成しても、社内への浸透や順守にはつながらない。雇用関係を結ぶというこ

とは、労使共に義務と責任を負うことだ。社員と理念や価値観を共有し、組織で成果を上げなければならぬ」ということを認識しなければ、業法改正には対応できないと考えている」と説明した。比較推奨販売については、顧客に最適な保険を提案するため、組織として顧客の意向に合わせる

を設けている。具体的に別個登録を廃し、7月1日から一個登録代理店として運営をスタートした。「業法改正に伴って求められる体勢整備義務を果たしていくには、一個登録方式への移行が必要不可欠だと判断した」とし、移行に伴って保険募集管理マニュアルや適正募集ガイド、内部監査チェックシートなどの改正を行った。



「雇用トラブル」への対応

雇用は会社側が法的な責任が生じるだけでなく、社員が起した事故や不祥事に対しても責任を負わなければならないなど、多くのリスクを抱える。こうしたことから雇用の前提条件を固め、雇用形態について募集人と細かく確認しながら契約を結んだ。

一個登録方式への移行を判断

同社では、法改正によって求められる方バナン体制を構築するため

代理店賠償責任保険の現場から 2

——トラブル事例リポート——

代理店賠償責任研究員 H K 生

前回(1月21日)予告させていただいた「自動車保険を他社から切り替える際に、他社の等級・事故有係数などがそのまま使えないトラブル」をリポートする。(発生全国的／保険会社全般／頻度有／対応方法など)

【1. 場面】

他社で自動車保険などの満期を迎えたお客さまに自社の切り替

他社等級がそのまま使えない

その後、しばらくたってから、保険会社より連絡が入った。「等級情報交換制度により、他社更改申込書の内容をそのまま引き継

3年長期の自動車保険や某共済からの切り替え時に起こっている。3年長期を募集している某社では、「事

入された際の各社などの個別解釈について、業界内で事前徹底ができていなかったことによる。また、某共済では等級プロテクトの特約が

「雇用は会社側が法的な責任が生じるだけでなく、社員が起した事故や不祥事に対しても責任を負わなければならないなど、多くのリスクを抱える。こうしたことから雇用の前提条件を固め、雇用形態について募集人と細かく確認しながら契約を結んだ。」

「当社では、人に従う組織ではなく、ルールに従う組織を目指しているため、これらのルール作成は社員全員で行っている。少々時間がかかっても、一人一人が合意し、納得できるルールを作ることがを掛けている」と話す。

故有係数の制度が導入以前の保険年度に起こった事故は不問に付す」といった判断をされたとのうわさであり、それが業界他社の営業現場に事前に徹底できていなかったことが原因と思われる。また、某共済では等級プロテクトの特約が残っていたが、その特約で等級据置された更改申込書記載内容を自社に切り替える際の等級等の継承ルールを同

しかし、怖いのは「保険商品を保険料・保険内容などで総合的に比較して商品決定した保険契約者に対して、後日、不意打ちのよう形で『保険料が違っておりました』とお伝えせねばならない」という業界への信頼感を損ねかねない可能性があることを業界共有の制度で起こしてしまった点にある。

者として、実際に募集に携わった代理店とが直面する点にある。業界各社の募集ルールとしての解釈論はあるだろうが、事故有係数については、今後も何年間か尾を引く可能性もあり、これから数年は本「残影」が懸念される。

「万が一にも、いわゆる「犯人捜し」などに繋がってしまい、今後の情報提供が実質上できなくなったり、こうした情報を現場から発信できなくなると、この回を締めくくらせていただく。」

に、6月末でこれまでの別個登録を廃し、7月1日から一個登録代理店として運営をスタートした。